

Q 法人町民税における標準税率採用について

A 財政上超過税率で



角屋 岳人 議員

問 木曾町では、町民法人税について、旧町村時代より長年、均等割・法人税割共に制限税率の上限(均等割120%、法人税割14.7%)を採用している。標準税率にした場合の税収に与える影響はどの程度か。

税務課長 標準税率に戻した場合、均等割1千876万3千円、法人税割1千857万4千円、合わせて3千733万7千円の減収となる。

問 企業誘致・工場誘致に当たりどのような優遇税制をとっているか。

税務課長 固定資産税にお

いて、課税される初年度100%、2年度70%、3年度50%を減免している。

問 町内企業は、景気後退による消費・設備投資の縮減、公共事業の減少に加え、燃料・原材料費の高騰など、厳しい経営環境にある。また、企業誘致においても超過税率が足かせになっていないとも考えられる。合併効果により町財政に改善の兆しが見えるなか、企業の支援・育成、企業誘致の推進の観点から、均等割を標準税率に、法人税割を段階的に是正する考えはないか。

町長 町財政健全化計画により、平成22年度実質公債費比率を18%以下にすべく鋭意努力している。町内法人には現在の超過税率で何とかお願いしたい。

問 平成22年度、財政健全化された時点で、標準税率

を採用されんことには大きく期待したい。

Q 中心市街地活性化事業の今後は

A 町の活性化に



上垣外 修 議員

問 ハード面では20年度で終了するが、所期の目的は達成されたとお考えか。

町長 ハード事業の到達点は74.2%ですが、街道歩きやJR利用者などの観光客は増えていると思います。

問 商圏への吸引力係数は33%に留まっているが。

観光商工課長 魅力のある商店街にしたいと思えます。

問 事業費の総額と、施設の維持管理は。

観光商工課長 約17億円投入され、指定管理制度での運営を考えております。

問 「やばら地区」整備計

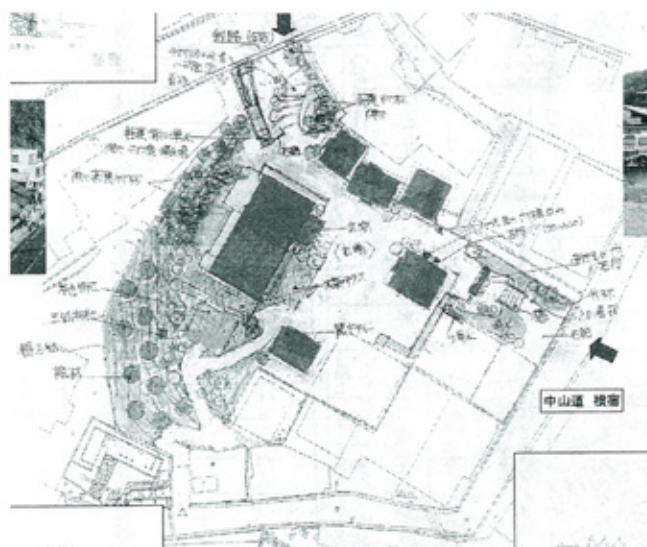
画と、周辺のそぐわない建造物への対応は。

観光商工課長 家老屋敷・蔵・千村邸を活用して「食」を提供し、本町地区の集会所が併設されます。

個人所有のものは町としてはノータッチです。

問 排水が木曾川へ流される一方、ラフティングや川遊びがおこなわれる現状に矛盾を感じますが。

上下水道課長 水洗化率は50→76%であり、啓蒙やPR



やばら地区整備計画

をして高めたいです。

問 日曜閉店時や空き店舗のシャッターに絵やイラストを描く「シャッターアート」構想を提案します。

観光商工課長 商工会等との協議を考えます。

問 支所周辺の再開発は。

町長 今後の課題です。

問 町長にとっての本事業による町づくりとは。

町長 町の活性化が一番の気掛かりであり、全力を挙げて頑張ります。